

平成 29 年 12 月 19 日

東松島復興推進員だより (第 33 号)

今回は、これまで東松島市で地域復興推進員として活動していた齋藤推進員と秋山推進員の3年間の任期終了に伴い、新しく着任した2人の推進員のご紹介をさせていただきます。

京野宏美

このたび地域復興推進員となりました、京野宏美です。私はこれまで、宮城県内で会社員をしながら、小学生を対象とした国際交流のボランティアに長年関わってきました。JICA事業に関わるのはこれが初めてで、これまでの推進員の方々とは少し異なるキャリアを歩んできました。

さて、東松島市で働き始めてまだ間もないのですが、まずもって市民の皆さんの前向きな取り組みの多さ、その熱心さに驚く毎日です。

JICAはこれまで、草の根事業やJICA研修員を通じ、東松島市と開発途上国との相互復興や相互理解に努めてきました。東日本大震災を乗り越えての復興・防災や、地域コミュニティづくり、未来を担う子供たちへの教育、観光資源としても魅力的な美しい景色と歴史、そして東松島の地域への熱い想いは、研修員の方々も大いに学ぶべきところとして捉えているようです。

私もこれから微力ながら、開発途上国と東松島との橋渡しのお手伝いできれば、と思っています。まずはたくさんの方々にも仲良くして頂くことが第一ですので、どうぞお気軽にお声掛け下さい。よろしくお願いします！

須田智美

皆さん、こんにちは。私は以前、青年海外協力隊の助産師隊員として、ブータン王国で2年間活動していました。青年海外協力隊の経験をぜひ日本にも還元したいとの思いから、今回、地域復興推進員として活動させていただくことになりました。ブータンでは、慣れない異文化の中で生活や活動することに苦労しましたが、最終的には多くのブータンの方々に支えられ「自分が活動を楽しむと、結果的に相手の役にも立つ」ということを実感してきました。その思いを忘れずに、東松島でも活動していきたいと思えます。

これまでの地域復興推進員は、東松島市の野蒜地区と宮戸地区を中心に活動していましたが、これからは活動範囲を市全域とし、国際協力を通じた地域活性化を目指していく予定です。前任者の築いてきた東松島の方達とのご縁を大切に引き継ぎ、開発途上国と東松島を繋ぎ、共に復興・成長できる関係作りに貢献していきたいです。



東松島宮戸夏まつり～JICA 長期研修員と一緒に～
(左から1人目京野、2人目須田)

【推進員だよりバックナンバー：JICA 東北ホームページ】

https://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/shinsai/newsletter_01.html